

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

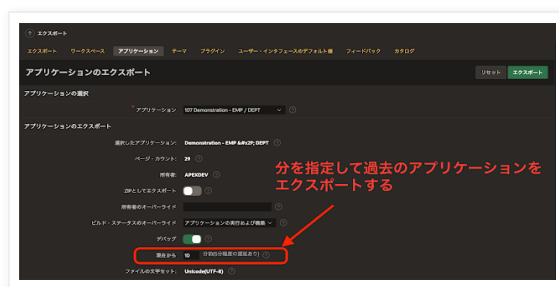
2022年5月9日月曜日

APEXアプリケーションの過去のコードを取り出す

APEXのアプリケーションに埋め込んだコードを書き換えて保存した後に、以前のコードに戻したくなることがあります。

これは以下の手順で実施できます。

1. アプリケーションのエクスポートを行う際に**現在から〇〇分前**を指定して、過去のアプリケーションを取り出す。
2. エクスポートしたファイルを別アプリケーションとしてインポートする。
3. インポートしたアプリケーションの、該当のコードを参照する。



アプリケーション全体のエクスポート/インポートを行う手間を省きたい場合は、以下のような方法で、特定のコンポーネントの過去の設定を取り出すことができます。

Always FreeのAutonomous Databaseでの作業例です。

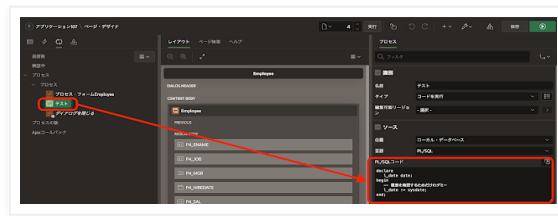
最初にAPEXのワークスペース・スキーマでFlashback Queryを実行する権限を与えます。APEXのワークスペース・スキーマをAPEXDEVとすると、以下のGRANT文を実行します。

```
grant flashback any table to apexdev;
```

データベース・アクションに管理者ユーザーADMINで接続し、上記のコマンドを実行します。

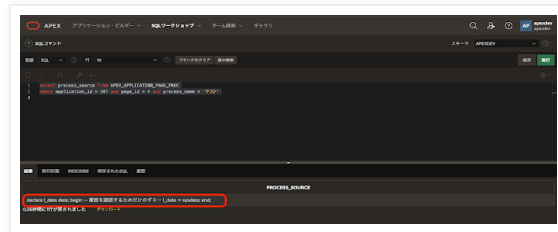


APEXアプリケーションとして、**アプリケーションIDが107、ページ番号が4のページに、テスト**という名前の**プロセス**があるとします。



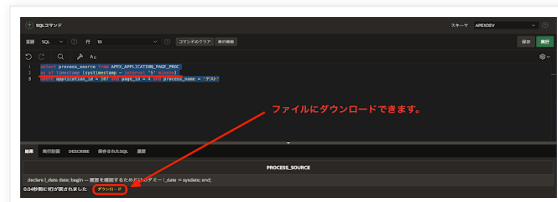
このコードは、APEXの標準ビューAPEX_APPLICATION_PAGE_PROCの列PROCESS_SOURCEから参照することができます。

```
select process_source from APEX_APPLICATION_PAGE_PROC
where application_id = 107 and page_id = 4 and process_name = 'テスト'
```



同じ場所の5分前のコードは、as of timestamp (systimestamp - interval '5' minute)を指定して検索することにより、取り出せます。

```
select process_source from APEX_APPLICATION_PAGE_PROC
as of timestamp (systimestamp - interval '5' minute)
where application_id = 107 and page_id = 4 and process_name = 'テスト'
```



ブラウザ上では改行が無視されていますが、これは表示上の問題で、ダウンロードしたファイルには改行も含まれます。

SQLコマンドの結果をダウンロードすると、デフォルトではShift_JISでエンコードされます。これはプリファレンスを開き、Unicode CSVダウンロードをONに変更することでUTF-8でダウンロードされるように変更できます。



プリファレンスの画面です。



APEXアプリケーションに埋め込まれたコードが、どのビューから参照できるかについては、**ワークスペース・ユーティリティ**の**Oracle APEXビュー**から確認できます。



以上になります。

Oracle APEXのアプリケーション作成の参考になれば幸いです。

完

Yuji N. 時刻: 18:33

共有

<

ホーム

>

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by Blogger.